

令和8（2026）年度 学校経営方針

1. 学校スローガン

「自分らしく いきいきと」

設定理由

だれにでも「よさ」がある。「自分らしく」とは、子どもが自分自身の「よさ」を自覚し、自信をもち、それを発揮すること。そのうえで、生活を「幸せ」と感じていきいきと生きる子になってほしい。お互いの「よさ」を認め合い、伸ばし合える学校集団を目指す。

2. めざす子ども像

（サキドリ研究事業の趣旨を反映し、小中9年間を見通して「自ら学びを調整し、他者と協働して未来を切り拓く子」を育てることを基盤に、以下の3像を掲げる）

- (1) 自分をのばそうとする子
- (2) 人とつながろうとする子
- (3) たくましくなろうとする子

《三崎中学校校訓「夢・自立・共生」》

- 夢 夢を育む
- 共生 共に生きる
- 自立 自分を創る

3. めざす職員像（スローガンを実現するために目指す具体的な像）

プロ意識と一体感「学びをデザインする高度専門職としての自覚と、チームによる複眼的な指導」

- プロ意識：カリマネ及び40分の授業マネを磨き、教育の質を追究する教職員。
- 一体感：チーム担任制により複数の目で子供を見守り、困難を分かち合う教職員。
- 創造的な余白：生み出した時間を教材研究や児童理解の「雑談」に充て、自らをアップデートし続ける教職員

4. 指導方針（指導する際の基本となる考え方）

自己肯定感 と ∞ と サキドリ

- 自己肯定感を高める（しっかり認めて、丁寧に教える）
- 子どもの可能性は「∞」である（限りなく伸ばす）
- サキドリ（児童の学力向上自己調整・児童の資質能力社会性・教師の組織的研究）

5. 本年度の重点内容（めざす子ども像に迫るための具体的な手立て）

- (1) 自分をのばそうとする子
 - ① 学習指導の研究・研修
 - ② 学びに向かう力の育成
 - ③ 学習環境の整備
- (2) 人とつながろうとする子
 - ① 対話的な学び方の工夫
 - ② コミュニケーション能力の育成
 - ③ インクルーシブ教育の推進
- (3) たくましくなろうとする子
 - ① 体験の機会を充実
 - ② 体力の増進
 - ③ 児童支援、心身のケア

多様な子どもたちの深い学びを確かなものに
教師と子どもの双方に余白を創出し
教育課程柔軟化サキドリ研究事業

自分らしく
いきいきと